

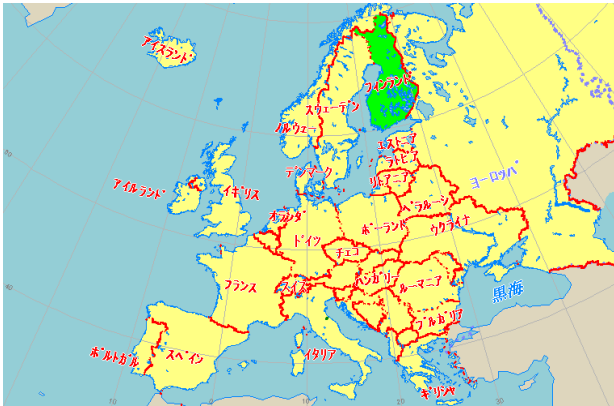
# フィンランドの北カレリア地方に おける園芸療法のとりにくみ

兵庫県立大学緑環境マネジメント研究科  
淡路景観園芸学校園芸療法課程

講師 天野玉記

# フィンランド

- 面積は33万8千km<sup>2</sup>で、日本の約9割
- 国土の68%が森林、10%が湖沼、6%が耕地、その他13%。
- 最南端が北緯60度、最北端が北緯70度で、国土の約4分の1が北極圏。北緯60度の首都ヘルシンキは、世界各国の首都の中で北から2番目に位置しています。
- 冬が一番長く、冬至の頃はヘルシンキで昼の時間が6時間弱。
- 夏は冬と逆で昼が長く、夏至の頃はヘルシンキで19時間、北極圏は白夜
- 人口は5,219,732人(スウェーデン:888万人、デンマーク:536万人、ノルウェー:453万人、アイスランド29万人/2003年)。
- 人口密度は1平方キロ辺り17人。人口の67%が都市部や町に住み、33%が農村地域に住んでいます
- 公用語はフィンランド語とスウェーデン語の2ヶ国語



# 北カレリア地方



# 充実した公的福祉制度

- 法律：フィンランドに在住するすべての人、すなわち、子供から、病人、失業者、高齢者といった生活弱者でも平等な生活水準を維持し生活できるような制度を確立
- 介護施設の人員配置 1:2（介護者:要介護者）
- 社会保障サービス：地方自治体が担う。税金による。
- 保健医療：基礎保健（一次ケア）と専門医療の2つに大別
  - 1次ケア：地域医療センターや診療所
  - 専門医療：病院
- 高齢者福祉：日本よりも早い高齢化社会  
(65歳以上の割合が人口の7%以上を占める)  
経済的自立、自己決定権、社会性の維持が目標。
- 年金：国民年金と労働年金（日本の厚生年金と同じ）。
- 国民年金の受給開始年齢：男女とも通常65歳。
- 高齢者福祉：在宅ケアと施設ケアの各種サービスあり。  
ノーマライゼーション・施設や病院への入所を遅らせようとする考え方（予防的福祉）が一般的

# 北カレリア地方の3種類の福祉施設 の紹介

- 1、特別養護老人ホームと精神疾患用アパート  
ハンネレ・ニューツソネン(幸せの家)(Outokumpu)
- 2、介護施設・病院・サービスホームの併設施設  
(Outokumpu)
  - a) 介護施設: イルタルシコ
  - b) 病院: ホペアクーシ
  - c) サービスホーム: クントラ
- 3、ホテル併設健康リハビリセンター (Ilomantsi)  
(滞在型リ介護施設: 民間経営)  
パースキュンペサ・イロマンチ